

## 現場実践①振り返りシート

✓ 振り返りシートには、要点のみを簡潔に書くようにしましょう（箇条書きでも問題ありません）

参加者番号 ※付与されている場合のみ		氏名	古城 裕喜
--------------------	--	----	-------

事例概要	<p>✓ <b>年齢、要介護度、家族構成、住居形態、既往歴、現在の利用サービス、担当している期間などを記載</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・78 歳男性、要介護 3、主病名：脳梗塞後遺症、既往歴は糖尿病、高血圧症</li> <li>・持ち家（戸建て）で妻と 2 人暮らし、主介護者は妻</li> <li>・利用サービス：通所リハ週 3 回・福祉用具貸与(特殊寝台・付属品「柵・介助バー」歩行器)</li> <li>・担当して半年ぐらい、ここ数週間、転倒したことをきっかけに閉じこもりがちになって事例</li> </ul>
------	--

着目した項目番号・項目名①	<p>✓ <b>想定される支援内容から項目番号・項目名を選びましょう</b></p> <p>I -1-3. 目指す生活を踏まえたリスク予測</p> <p>12. 転倒などのからだに負担の掛かるリスクの予測</p>
---------------	--

## この項目に着目した理由

✓ **具体的に記載するように意識しましょう**

- ・先日自宅で転倒してひとりで立ち上がれなくなり近所の人に助けてもらったため
- ・妻から話を聞くと転倒することが多いと聞き取ったため
- ・転倒骨折は要介護状態の重度化に繋がるため

## この項目についての今回の現場実践における具体的な取り組み内容

✓ **選んだ項目について、取り組んだ内容やその結果を記載しましょう**

✓ **誰にどんな働きかけや声掛けをしたか、誰にどんな変化があったか等を具体的に書くと分かりやすくなります**

- ・現在の生活習慣で転倒の頻度やバランスを崩しやすい場所などを PT と一緒に移動しながら再度アセスメントする
- ・室内での移動の頻度の多い、トイレや寝室・居間などの住環境や介護力などもう OT や介護職と一度確認する
- ・ADL・IADL の状況を利用している通所リハビリのセラピストから退院後の本人の身体機能の変化など情報収集する
- ・転倒に対しての本人や家族の理解度や心理的負担など聞いてみる

## グループワークで他の参加者に相談・共有したいこと（取り組む過程での悩み・気づきなど）

✓ **取り組んだ項目に関して、ご自身の気づきや悩んだ点、難しかった点を簡潔に記載しましょう**

✓ **また、本人・家族・他職種との関わりや変化等があればグループワークで共有しましょう**

【I -1-3. 12. 転倒などのからだに負担の掛かるリスクの予測】

- ・本人は転倒してから閉じこもりがちで、なかなか思うように話ができないことに悩んでいる
- ・上記同様、転倒後通所リハビリを休んでいる。また、妻が声を掛けても悲観的言動が増えている

【着目した項目以外について】

- ・後遺症で生活機能が急に低下、障害受容が出来ていない人への対人援助に悩んでいます
- ・転倒に関する項目が I -1 の中に 4・12 があり違いを理解するのが難しかった・時間がかかった